

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	こばんはうさくら野田教室（児童発達支援）
------	----------------------

公表日 令和7年11月20日

保護者数（利用児童数）

26（28）

回収数(回収率) 24（92.3%）

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	22	1		1	庭があるのがとてもいい。	庭遊びがあり、走り回ったり、たくさん体を動かす活動もあるため、事故や怪我のリスクも高まります。庭での活動の時間は、特に職員配置を気を付ける等、気を付けていきたいと思っています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	24				手厚く見ていただいていると思います。	適切な人数を配置しています。定期的な職員の研修会や勉強会等の開催を続け、職員の教育に力を入れていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	2		3		利用児に合わせた環境作りを心掛けていきます。視覚から、わかりやすい絵をつけた表示や、室内の掲示物等、工夫していきたいと思っています。また、怪我をしやすいものがないか、活動しやすい環境であるか等、日々安全を考えた環境作りをしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	21	2		1	いつも綺麗に清掃されていると思います。	チェックリストを用いて、清潔で心地よく過ごせる環境作りを心掛けています。おもちゃの消毒も定期的に行っています。玩具等は箱に入れ収納するなど、活動に集中できるような環境作りを行っています。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	22			2	よく見ていただいていると思います。	利用児それぞれの特性を理解して支援を行うことを心掛けています。職員間での情報の共有も行い、専門性のある支援を行っています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	23			1		公表している支援プログラムに沿って支援しています。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	23	1			定期的に計画の見直しをしています。	児童発達支援管理責任者含め職員間でのカンファレンスや、保護者、利用児とのコミュニケーションを大切に、計画しています。定期的に計画の見直しも行っています。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22	1		1		ガイドラインを基に、支援計画を作成していきます。発達段階に応じて、その時に必要な支援を行えるように、家庭や関係機関との情報の共有や連携を行っています。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23			1		個々の発達に合わせた療育が行えるように計画しています。職員一人一人が、それぞれの支援計画に沿った支援が行えるように、日々の振り返りや朝礼、昼礼での情報共有を大切にしています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	23	1			毎月違うプログラムが行われています。	プログラムは、季節に合わせた活動を心掛けています。また、食育では、旬のものを取り入れるよう、工夫をしています。その他の内容についても、固定化されないよう工夫を行っています。イベントや行事等は、曜日に偏りがなく、各曜日の利用児が楽しめるよう、計画していきます。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	13	3		8	コロナ等の感染症も心配なので、あまりなくてもいいかと思っています。	現在、他の保育園等との交流や、地域のこどもたちと関わる機会を計画することができていません。今後の課題として検討していきます。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	24				わかりやすく説明していただきました。	契約時に児童発達支援管理責任者が書面を示し、確認をしながら説明をさせていただきます。その後、利用者負担額等が変わった時には、書面を作成しなおし、都度ご説明し、お渡ししています。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21			3		支援計画を示して支援内容について説明しています。必要に応じて、支援計画の見直しも行っています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	5	2	7		心配事や相談事がある時には、その都度面談やお電話にて相談させていただきます。

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	21	3			送迎時にその日の様子の説明があり、様子がわかり安心しています。	送迎時に教室での様子をお伝えしています。追加で相談等がある場合には、児童発達支援管理責任者よりご連絡させていただきます。相談がある場合には、個別で面談等を行うこともできますので、お気軽にご連絡ください。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	2	1	2	定期的な面談で相談ができている。	半年に一度のモニタリングのみに関わらず、心配事があった場合、都度面談やお電話にて相談させていただきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22	2				利用者様やご家族様の気持ちや思いを大切に、より良い療育を提供できるように、職員間での情報の共有を行い支援につなげていきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	4	4	8		今後、コロナやインフルエンザ等の流行状況を注視しつつ、計画をしたいと思っています。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21	2		1	何か相談があった時はすぐ対応していただいています。	保護者の方からの連絡・相談については連絡表に記入し、児童発達支援管理責任者はじめ職員間で共有するようにしています。必要に応じて、児童発達支援管理責任者から連絡させていただくようにしています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	24				チャット機能でやり取りができるようになり、連絡しやすくなりました。	心配事や相談事があれば、いつでもご連絡ください。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	22	1		1	定期的に写真付きの手紙をいただき、毎月楽しみにしています。	行事等のプログラムは「こぼんはうすくらだより」にて記載をしています。「こぼん通信」では、前月の行事等の様子を写真付きでご紹介しています。今後も、活動の様子がわかるような配信をしていきたいと思っています。
非常時等の対応	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	24					個人情報の取り扱いについて、職員の研修等で指導しています。
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	22			2		避難訓練の様子を、こぼん通信等でお知らせしています。また、災害発生を想定した訓練が出来るように、遠方で防災センターに行くことを計画したいと思っています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	23			1	定期的に避難訓練があり、家でも地震があっても落ち着いてテーブルの下に隠れています。	定期的に避難訓練を行っています。いつでもどこで非常災害が起きても、落ち着いて避難できるように引き続き訓練を行っています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	22	2				安全計画についても施設内に掲示されています。保護者の方にも、おたよりや通信を通じて、計画や実施報告を行っています。
満足度	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21			3		体調不良や怪我等が発生した場合には、迅速に保護者の方へお電話にてご連絡させていただきます。
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	24					安心して過ごせる環境を提供できるように、引き続き職員間で連携を取りながら支援を行っていきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	23		1		楽しく通わせていただいています。	今後も楽しみながら療育につながる支援を行っていききたいと思います。
	29	事業所の支援に満足していますか。	22	2			長期休み期間は支援時間を長くとっていただけると嬉しいです。	今後もご満足いただける支援を続けられるよう、職員間で連携して療育を行いたいと思っています。支援時間は短いですが、ご満足いただける支援を行っていききたいと思います。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
こばんはうすさくら野田教室（児童発達支援）		令和7年11月20日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	・活動に合わせてスペースを区切って部屋を使っている。	・安全に過ごせるように配置を工夫していく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	・子どもの様子に合わせて、職員の配置を行い、余裕を持った人数で支援ができています。	・配置人数が多いため、より充実した支援ができるように工夫していく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	・耳からの情報よりも目からの情報の方が理解できる子に対して、絵カードやイラストを使って伝えられるようにしている。 ・絵カード等を利用して、視覚でのバリアフリー化はされている。 ・危険ないように配慮されており、視覚でわかるようにカードを貼ったり工夫している。 ・今通っている現状でのバリアフリー化は適切と思う。	・今後も、利用児の状況に合わせて、必要な環境を整えていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	・毎日掃除を行い、掃除リストをすることで、場所をわかりやすくしている。玩具の消毒も週1で行っている。 ・毎日の掃除、おもちゃの消毒など、こまめに実施し、清潔が保たれている。	・急な感染症が発生しても、迅速に対応できるように清掃用具や薬剤をそろえておく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	・活動に合わせて区切り、パーテーションを使って個別の空間を作れるようにしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0	・朝礼、昼礼、支援後の振り返りを行い、全体で話し合いを行っている。	・欠席者にも共有できるように、振り返りノートを活用していく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・全体で話し合う時間を設け、内容を伝え合い、改善に向けて話し合っている。	回収率を上げるためにも、お声をかけていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・定期的にミーティングを行い、改善点がある場合は改善点を話し合っている。 ・常に相談、話し合いを行っている。	・必要に応じて面談の機会も作り、職員の意見を把握できるようにする。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	0	・本部の人が来て、評価のチェックを行っている。	どんなことを評価したのか、他の職員にわかるようにしたらより良くなる。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	・定期的に研修に行ける人は行かせてもらっている。その内容を他職員に伝える時間もあり、職員間で共有ができています。	・研修を受講していない人にも内容を共有できるように、議事録や連絡ノートなどを活用していく。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	・保護者にアプリでプログラムを公開し、本部のHPにものせている。管理者、児童発達支援管理責任者がプログラムを作成している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	・子どもの発達、保護者のニーズに合わせた支援計画を作成している。 ・職員の人達に聞き取りシートを記入してもらい、個々に合わせた支援計画書を作っている。	・保護者の希望も理解して支援を工夫していく。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	・支援計画作成後、個人ファイルにはさみ、職員が目を通せるように行い、共通した支援ができるようにしている。 ・職員の人達に聞き取りシートを記入してもらい、個々に合わせた支援計画書を作っている。	・日々の支援の振り返りなどでも、個々の課題について共有できるようにしていく。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	・支援計画を共有し、共有した支援を行えるようにしている。 ・個人ファイルを職員間で共有し、個々に合った支援が行われている。 ・支援に生かせるよう、常に共有されている。	・支援計画の内容について、ミーティングや朝礼、昼礼、終礼などで共有していく。

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	・子どもの発達検査の結果などを共有している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	・児童発達支援管理責任者が、ねらいをふまえた計画を作成し、支援内容を指導している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	・複数人で行い、協力してできている。 ・準備等も教室で協力して行っている。	・様々な職員の意見を取り入れられるように、支援後やミーティングなどで意見交換をしていく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	・毎回違ったプログラムを用意している。 ・同じ内容が同じ曜日にならないようにしている。 ・曜日をかえたり、固定化しないようにしている。	・プログラムの作成は、より多くの職員の意見を取り入れられるよう、工夫したい。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	・子どもの状況に合わせて行っている。	・事前に支援内容の確認を行い、どう取り組むか相談できる環境を整える。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	・朝礼、昼礼を行っている。連携をしながら支援を行っている。 ・途中からくる先生にもどのような内容かを共有している。	・当日までに支援の内容を確認し、事前に打ち合わせを行えるようにする。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	・1日の振り返りを支援後に行っている。気づいた点、良かった点を話し合っている。 ・振り返りノートにも記入し、その日にいなかった職員にも共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	・振り返りを行い、ノートに記録を残している。ノートを見て、共通した支援を行えるようにしている。 ・ヒヤリハットを使い、みんなで共有している。	・よりよい支援が行えるよう、ミーティングの他に勉強会の機会があるとありがたいです。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	・半年に一度、児童発達支援管理責任者が行っている。	・こどもの様子を見ながら、計画に見直しが必要な時には、その時点で計画を見直していく。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	・児童発達支援管理責任者が行っている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	・保育園、幼稚園に様子を見に行ったり、情報の共有をしたりしている。	・いつでも連携を取れる体制づくりをしている。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	・小学校に上がる際など、各機関との情報共有を行っている。	・もう少し、幼、保、小での子ども様子を見に行けると支援につながりやすいと思います。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	・情報共有を行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	7	0	・必要に応じて連絡を取り合っている。	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	2	・安全面のため他の保育所などとの関わりは少ないが、同じ事業所内の教室との関わりは、プログラム(外出)を通して行っている。 ・他教室のこどもと活動する機会が設けられている。	・外出プログラムで交流できる機会を増やしていく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	・送迎時に子どもの様子を伝えたり、必要に応じて電話などで伝えたりしている。	・日々のコミュニケーションを大切にし、相談しやすい関係づくりに努めていく。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1		・来年度から家族支援などを行う予定。
保 護 者 へ の 説 明 等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	・契約時に伝えている。 ・細かく説明していただく機会があり、とても勉強になった。	・難しい言葉を使わず、分かりやすく伝わりやすい伝え方を工夫していく。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	・面談で保護者、子どもの意見を取り入れている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0	・契約時やモニタリング時に、見せながら説明している。その場で同意を得てサインをもらっている。	・疑問な点があった時には、理解してもらえよう、詳しく説明を行っていく。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	・半年に1回モニタリング、必要に応じて面談を行っている。 ・モニタリング以外に、必要に応じて電話や面談を行っている。	・迅速に対応できるように、連絡体制を整えておく。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	6	・今はできていないが、今後できたら良いなと思い検討中。	・日程の調整を行い、保護者会が開催できるように計画をしていく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	・児童発達支援管理責任者が、何かあった時は対応している。 ・必要な時は、電話や面談をしている。	・連絡漏れがないように、相談や申し入れがあった時の報告を徹底していく。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	・HUGのアプリを使い、活動の様子を伝えている。 ・通信を毎月だしている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	・鍵のかかるキャビネットに保管、名前がわかる物はシュレッダーで処分している。	・不要なものはその場で処分するよう徹底していく。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	・言葉だけで伝わりづらい場合はメモ、メモで伝わりづらい時は口頭で伝え、+αの配慮をしている。 ・保護者に合わせて、メモ、電話等を使って対応している。	・個々に応じて伝わりやすい伝え方を工夫していく。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	7	・安全面を考慮して考えると、難しいところもあるが、良い方法があれば取り入れたい。	・安全に行える方法が見つかれば、計画していく。
非 常 時 等 の 対 応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	・想定した訓練を行えている。家族にもこういう風に取り組みましたと伝えている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	・避難訓練などを行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	・契約時に確認している。	・確認した内容を職員間でも共有していく。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	・おやつ、食育などで提供する場合は、職員同士でダブルチェックを行っている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	・プログラムにより、避難経路がふさがってしなうこともあるが、職員が配慮しながら支援を行えている。	・日々、安全管理が十分にされているか確認をしていく。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	・安全計画を行い、周知できるようにしている。	

	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	・ヒヤリハットの共有し、いつでも見れるようにして再発防止に努めている。 ・その都度、ヒヤリに対して対策をしている。	・個々によって、ヒヤリと感じる内容が異なるので、小さなことでも共有していく。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	・虐待防止の研修を行っている。 ・チェックリストや研修を行っている。	・欠席者にも共有できるように、振り返りノートを活用していく。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0	・事前に保護者に伝え、支援計画に記載している。	